

令和 7 年度 「学校教育自己診断」 集計結果

1. 実施期間

保護者：令和 7 年 11 月 24 日～12 月 5 日

教職員：令和 7 年 11 月 21 日～12 月 5 日

2. 回 答 率

保護者：154/187=82% (←令和 6 年度 81%)

教職員：134/135=99% (←令和 6 年度 97%)

3. 令和 6 年度からの自己診断票の変更点

大阪府教育庁の通知に基づき、本校の学校経営計画及び学校評価の評価指標と照らし合わせて学校教育自己診断の質問項目を設定した。

【質問項目数】 保護者→14 項目で令和 6 年度から変更なし

教職員→19 項目で令和 6 年度から変更なし

【質問内容】 より具体的な内容へと変更をした

4. 自己診断項目回答について（評価の指標）

- A. よくあてはまる(76～100%できている)
- B. あてはまる(51～75%できている)
- C. あまりあてはまらない(26～50%できている)
- D. まったくあてはまらない(0～25%できている)
- E. わからない（※別途記述欄あり）

⇒ A・B を「肯定的回答」、C・D を「否定的回答」として捉える

5. 否定的回答 15%以上、わからない回答 10%以上の項目

【保護者】

・なし

【教職員】

・なし

6. 次年度主に取り組むべき内容

- (1) 子どもの障がい理解、授業力・専門性を高める研修機会の充実
- (2) 校務支援システムの使用方法の理解と活用方法の定着
- (3) ICT を活用した授業づくりと課題の検証